

今年も出会いと別れの季節がやって来まし  
 た。明日には私たち百四十二名の六年生がこ  
 の学校から旅立ちます。これから私たちは  
 「中学校」という新しいステージに立ちます。  
 そして在校生のみなさんは一つ学年が上がり、  
 新しい一年生も入学します。四月からみなさ  
 んは新しい学校生活が始まります。期待に心  
 を弾ませる一方で、新たな生活に不安を抱い  
 ている人もいることでしょう。ピカピカのラ  
 ンドセルを背負い、初めてこの学校の門をく  
 ぐった時、私は不安と恐怖でたまりませんで  
 した。しかし、この六年間私は充実した学校  
 生活を送ることができました。そこには、こ  
 の学校の大きな良さが、関わっていると考え  
 ます。

「だれもが輝ける場所」「笑顔が絶えない  
 場所」。大曽根小のストーリーガンである「か  
 けスマイル大曽根小」の意味です。これは、  
 この学校の大きな強みです。たくさん仲間  
 が共に生活する中で、見た目の違い、性格の

違い、自慢できることの違い、意見の違いな  
 ど、たくさん「違い」がぶっかかりあってい  
 る姿を私は何度も見てきました。しかし、そ  
 れは当たり前前のことであり、「十人十色」と  
 いう言葉のふうに、一人一人が、自分の輝け  
 る部分を伸ばしていく訓練だと思えます。こ  
 のことをみなさんも理解していることでし  
 う。だから、だからこそこの学校は、だれもが輝く場  
 所となったのだと思います。「自分の得意な  
 ことで成功した」「自分の苦手なことに挑戦  
 できた」「友達を作れた」「休まず学校に行  
 けた」「みんな輝けていました。また、きくと  
 みなさんのクラス、友達、先生との間で、こ  
 の一年間、教えきれないほどの「笑顔」がう  
 まれたことでし「う。」「クラスの面白い仲間  
 「嬉しいこと、楽しいこと。」「きっかけは何で  
 あれ、それは学校生活でしか手に入らない  
 「幸せ」です。一年間笑えたことは、きくと  
 この先思い出となり、人生の力となることで  
 し「う。

私たちが六年生はそんな想いをもって、この学校から旅立ちます。

来年度、大曾根小学校は六十周年を迎えます。六十年という長い歴史の中で、さらに「かがやけスマイル大曾根小」となることを楽しみにしています。校長先生をはじめとした先生方、PTAの方々、ボランティアとして支えてくださった地域の方々、ご家族の方々、そして全校児童のみなさん、六年間私たちを支え、見守ってくださり、本当にありがとうございました。

とうございました。

六年二組

山中 美季